

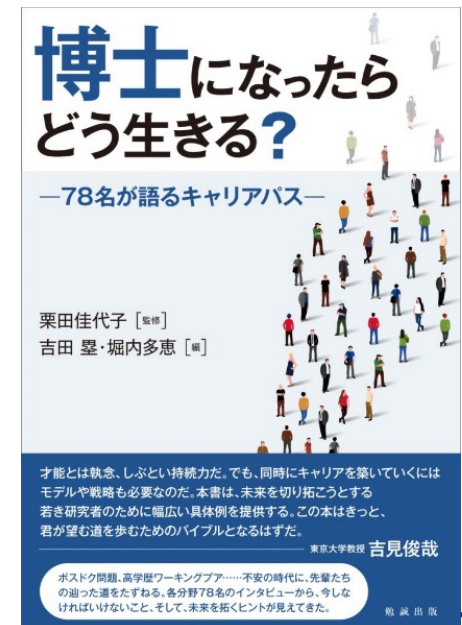
ガクチカを伝えるように書こう！

東京大学 大学院工学系研究科
大学総合教育研究センター
吉田 壘

2021年11月20日

自己紹介 ～吉田壘～

- 東京大学 大学院工学系研究科 准教授
- 東京大学 大学総合教育研究センター 高等教育部門長
 - 教育工学（EdTech、ファカルティ・ディベロップメント）
 - オンライン教育の支援（ポータルサイト・オンライン教育支援サポーター・コモンサポーター運営…）
- より良い教育の支援に向けて活動中 (LearnWiz)
 - オンラインで大規模なアクティブラーニング
- [研究室 HP](#)



自己紹介 ～中條麟太郎～

- 東京大学 文学部人文学科心理学専修 3年生
- 東京大学 大学院情報学環 教育部 研究生
 - Human-computer interaction (ユーザーとコンピューターとの関わり)
 - オンライン教育支援 (ポータルサイト・オンライン教育支援サポーター・コモンサポーター運営…)



LearnWiz **one**

みんなの意見を賢く手元に

<https://one.learnwiz.jp/>

β版公開中！

- 意見/感想を集約/共有できる
- 一人作業でも他者から学べる
- 大規模でも使える

質問受付も

本ツールで行います！

ワークショップの目的・目標

- 目的

- より良いガクチカ（学生時代に力を入れていたこと）を作成するようにする

- 目標

- 文章作成に役立つアウトライン思考法について説明できる
- ガクチカのアウトライン案・文章案を作成できる

目次

- アウトライン思考法
 - 振り返りワーク
 - アウトライン・文章作成ワーク
 - おわりに
-
- (備考) 本ワークショップは下記いずれかの形式で参加可能
 - 聴講 (Zoom or YouTube)
 - 個人ワーク (Zoom or YouTube) : LearnWiz One を利用
 - ペアワーク (Zoom) : Zoom のブレイクアウト機能を利用
 - ペアワークに参加したい方は名前の前に「P」を追加

アウトライン思考法

アウトライン思考法とは

- アウトラインとは
 - 一般的には物事の概要・全体像のこと
 - ここでは「伝えたい内容の要素を短いキーワードや文章で表現して羅列したもの」とする
 - 例: このスライドの内容自体もアウトライン
- アウトライン思考法とは
 - アウトラインを使って物事を整理・思考する方法
 - 様々な場面で活用可能
 - 文章作成, 資料作成, ワークショップ開発, 研究計画書作成(学振・科研費), 思考の整理...
 - メリット
 - 伝えたい内容の全体像を把握・整理できる
 - 文章や資料の大幅な修正がほぼ無くなる

用語説明

- 要素

- アウトラインに記述する短いキーワードや文章のこと
- 例の A, B, C が要素

- インデント（字下げ）

- サブ要素を作成するために用いるもの
- サブ要素は一段階右にインデント

- 子要素

- 要素の中に入っているサブ要素のこと
- 例の A に対して, B, C が子要素

- 親要素

- サブ要素を含んでいる要素のこと
- 例の B, C に対して, A が親要素

アウトライン例

- A
 - B
 - C

おすすめのツール

- Google ドキュメント (オンライン)
 - 複数人で共同で作成したいときはこちらを使う
- Notepad++ (Windows)
 - 1人で黙々と作業したいときはこちらを使う
- WorkFlowy, Bear プライベートメモ, iCloud メモ, VS コード (Extension の Markdown All in One 追加推奨) ...

スマートインデントできるのがおすすめ
(同じインデントで改行)

文章書くときのポイント

- 読み手と目的を明確にする

- 誰に読んでもらうのかを明確にする
- 何を伝えたいのかを明確にする

- 同じテーマでも読み手と目的が変わると
書く内容が変わる

- 例：ツールの説明文
 - 初心者ユーザーの読者
 - ツールのメリットや基本的な使い方を簡易に説明
 - 詳細なスペックを知りたい読者
 - 専門用語等を利用して詳細な情報を正確に説明

アウトラインを作るときのポイント

- 作成前

- 最初から完璧なものを目指さない（文章作成中に変わることが多い）

- 作成中

- 伝える上で重要な要素を挙げる
 - 各要素が目的に対して本当に必要なのか，確認する
 - 要素を削除しても内容が伝われば，その要素は不必要
- 各要素の詳細な説明になるように子要素を作る
- 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで作る
- 要素間のつながりがスムーズか確認する

- 作成後

- 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する
 - 文章作成に迷いがなければ，アウトラインの修正は必要なし（整理が必要だと感じたときに修正して文章の構造を再検討する）
- 他の人からフィードバックもらう

ガクチカについて

- ガクチカ = 学生時代に力を入れていたこと
- ガクチカのポイント
 - 応募者の具体的な経験と実績
 - 応募者の人柄や思考
 - 応募者と企業とのマッチ度合い
- 型の例（参考: <https://unistyleinc.com/techniques/1336>）
 - 結論: 何に取り組んだのか？
 - 動機: なぜ取り組んだのか？
 - 目標と困難: どんな目標を掲げたのか？ 困難は何か？
 - 取組と結果: どのように取り組んだのか？ 結果はどうか？
 - 人柄: 活動の中でどのような性格が活かされたのか？
 - 学び: 取組を通じて何を学んだのか？

アウトラインの作成例 ～ガクチカ～

- テーマ
 - 学生時代に力を入れたこと（ガクチカ）
- 読み手
 - 企業の採用担当
- 目的
 - 自分を採用してもらいたい
 - 問題に対して解決の試行錯誤を行い、粘り強く取り組むことができることを知ってもらいたい
- 備考
 - 実際に出す企業に合わせて、活動を通して学んだ部分を変更する予定

アウトラインの作成例 ～ガクチカ～

- アウトライン案
 - 結論
 - 動機
 - 取組
 - 結果
 - 学び

アウトラインの作成例 ～ガクチカ～

- アウトライン案
 - 結論
 - 動機
 - 取組
 - 結果
 - 学び

アウトラインの作成例 ～ガクチカ～

- 文章案（394文字）

- 私は高校2年生の頃から聴覚障害のある人への情報提供に力を入れており、大学3年生の今でも続けています。
- 活動のきっかけは、仲良くなった聴覚障害の友人がミーティングで発言していないことに気づいたことです。手話通訳はありましたが、議論が早いと十分通訳されず、情報が足りないため議論に追いつけないようでした。
- そこで、障害の有無によって議論への参加のしやすさが異なる状況を変えたいと考え、自分にできる情報提供の方法を考えました。手話を学ぶことも検討しましたが、習得に時間がかかります。一方、自分が得意とするタイピングを活かせば、すぐに情報提供ができると気づき実践し始めました。
- 継続的にそのような活動を続けた結果、聴覚障害の友人の発言が段々と増え、日によっては議論の進行をするようにもなりました。私はこの経験を通じて、自分の強みを活かして継続的に課題に取り組むことで、解決に繋がれることを学びました。

ペアワークする人用

ペアワークに参加したい方は名前の前に「P」を入れてください

[Google ドキュメント](#) を用います

- (ペア) グループ番号を確認して、簡単に自己紹介し、ここまでの話を聞いた感想を共有 (6分)
 - グループ番号は Zoom ウィンドウの左上のルーム番号です
 - グループ番号に対応した Google ドキュメントに記入をお願いします
 - 質問は質問用 LearnWiz One へ

1人でワークする人用

LearnWiz One を用います

- これまでの話を聞いた感想を LearnWiz One に投稿 (4分)
 - 疑問は質問用の LearnWiz One へ
- 他の人達の投稿を確認 (2分)

(全体) 共有

文章作成ワーク

文章作成ワーク

- テーマ: ガクチカ
 - 学生時代に力を入れていたこと
- 読み手
 - 企業の採用担当
- 目的
 - ガクチカを通して伝えたいこと

文章作成ワーク

聴講者用 [アウトライン思考法記事一覧](#)

全体共有時に戻ってきていただければ！

ペアワークしたい人用

- (個人) アウトライン作成 (10分)
 - Google ドキュメントに作成
- (ペア) 相互フィードバック (7分×2人)

1人でワークしたい人用

- アウトライン作成 & 送信 (8分)
 - 手元で作成 & LearnWiz One に投稿
- LearnWiz One で他の投稿を確認 & コメントでフィードバック (14分)

(全体) 共有

- (個人) アウトライン改善 & 可能ならば文章作成 (20分)
 - Google ドキュメントに記入
- (ペア) 相互フィードバック (7分×2)

- アウトライン改善 & 可能ならば文章作成 (20分)
- 他のアウトライン確認 & コメントでフィードバック (14分)

(全体) 共有

おわりに

おわりに

- ご参加いただきありがとうございました！
- [アンケート](#)にご協力ください！
- 改善したい文章を共有してくれる方[募集中](#)！
- [今後の公開イベント](#)
 - 2021年11月26日（金） 20:00-21:00 授業ラボ（予定）
- 情報発信・共有
 - メーリングリスト: [Web フォーム](#) or [Google グループ](#)からの登録
 - 情報発信: [Facebook ページ](#)
 - オンラインコミュニティ: [Facebook グループ](#)

アウトライン思考法 参考文献

- 基本編
- 文章作成編
 - 実例: Google ドキュメントの使い方
 - 実例: ダージリンの紹介
 - 実例: オリンピックにおけるグラフィックデザイン
- ワークショップ編
 - 第1回 ワークショップを設計する
 - 第2回 スライドを作成する
 - 第3回 ワークショップを実施して改善する
 - 第4回 改善したワークショップを実施する